

市長が語る「分権型社会における都市像」

—連載に当たって—

各都市は、その規模や歴史・文化、地域で果たす役割など、それぞれ異なる特性を持ちつつも、住民に最も身近な基礎自治体として、日々、行政サービスの向上に取り組んでいます。

こうした状況の中、指定都市・中核市・特例市は、国や広域自治体からの権限・財源の移譲による真に自立した地方自治の確立を目指し、その実現に向けた取組を連携して行っているところです。

リレーコラムの連載は、その連携の一環として、一昨年及び昨年に続き行うものです。

皆様が地方分権について考える契機となり、ご理解、ご賛同いただければ幸いです。

